

TOKKATSU

特活通信

2025年5月1日 第4号

発行 日本特別活動学会

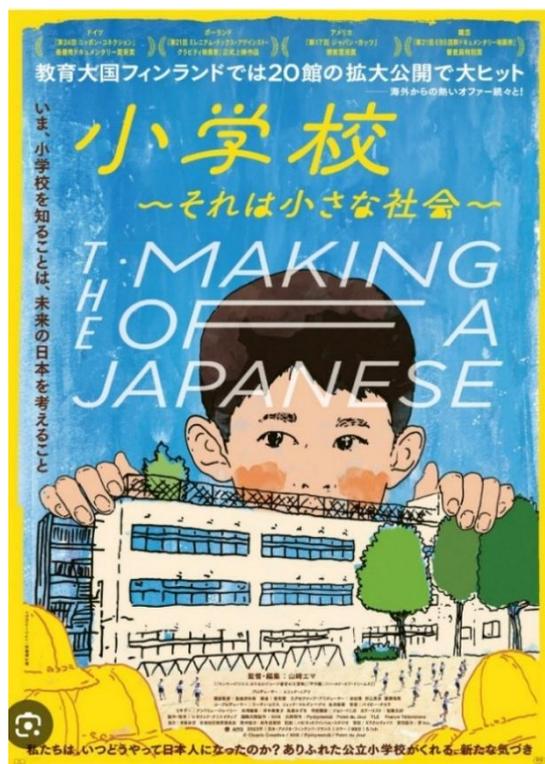
会長 安井一郎（獨協大学）

文責 次期学習指導要領検討委員会

特別活動の「学校行事」で成長する子どもたち

日本の小学校の日常（ただしコロナ禍）を撮影、編集したドキュメンタリー映画「**小学校 ～それは小さな社会～**」はフィンランドをはじめ世界各地で上映され、異例の反響を呼んでいます（左・映画のちらし）。日本でも封切り直後に上映館が拡大され、教育関係者のみならず一般の人々からも絶賛されています。委員の皆様の中にご覧になったかたもいらっしゃるのではないのでしょうか。また、その短編版の作品は、米国第97回**アカデミー賞短編ドキュメンタリー部門**に、日本の作品としては初めてノミネートされ、米国でも注目されています。

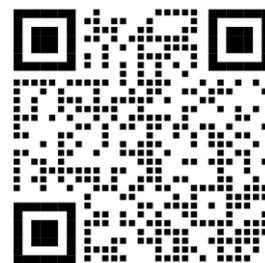
この映画では、1年生の児童が**新入生のための行事（特別活動）**を通して、**自らの可能性に挑戦し、仲間や先生から励まされて、失敗を克服し成長する姿**が描かれています。児童生徒の「人間関係形成・社会参画・自己実現」を大切にする特別活動ならではの教育実践です。



※詳しくは <https://shogakko-film.com/> をご覧ください。



短編版は以下から視聴
できます（23分間）。ぜひ
ご視聴ください。



大学生の感想

「子供の頑張る姿、成長していく姿が見たいから教師を目指していたことを思い出させてくれた」「教師は子供と一緒に成長していける仕事で、感動の涙を流せる数少ない仕事だと初心に戻ることができた」

協働的な学びを通して**集団を形成**しながら、**個別最適な学びを促進**する特別活動は、日本の学校教育に欠かせない教育活動です。

特別活動を通して、子ども達に**明るい未来を届けましょ**う